

全日制の課程ガイダンス用シラバス

1 国語科

全 日 制							
科 目	国 語 総 合			履修条件	特になし		
種 類	必履修	対象年次	1年次	単 位 数	4単位	講座人数	40人
教科書 教材等	新編 国語総合 (東京書籍) 常用漢字クリア(尚文出版)						
目 標	1 国語を適切に表現し的確に読み取る能力を育成し、伝え合う力を高める。 2 さまざまな文章を読むことで、言語文化に対する関心を深める。 3 思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨く。						
学習内容	1前期 現代文の分野では、平易な随想・小説を扱い、高校での国語学習のあり方と表現のおもしろさを学びます。また、古典分野では、古文と漢文の入門教材から、その特色と基礎を学びます。 2後期 前期の基礎学習を受けて、現代文・古典両分野とも著名な作品に触れ、内容を理解する力を養います。						
評 価	1 出席状況 2 授業への取り組み 3 提出物(ノート、プリント、レポート等) 4 定期考査 5 小テスト 6 その他						
アドバイス	1 高校での国語の入門科目として、現代文と古典(古文・漢文)の二分野について広く学べることから、自分で興味・関心を見つけて、授業に臨むことが大切です。 2 授業のノートをきちんととったり、プリントをしっかりとやるなど日々の積み重ねが大切になります。						

2 社会科

全 日 制							
科 目	現 代 社 会			履修条件	特になし		
種 類	必履修	対象年次	1年次	単位数	2単位	講座人数	40人
教科書	新現代社会 ―地球社会に生きる― (教育出版)						
目 標	1 現代の社会のなかで、自分自身と世界がどうかかわっているのかを探求する。 2 自分の在り方や生き方について関心を深め、先哲の考え方を学ぶ。						
学習内容	1前期 現代の社会のなかで自分自身と世界とのかかわりについて探り、自分のあり方・生き方について考える。 2後期 政治、経済、社会、国際関係など多様な観点から現代社会をとらえ、私たちの様々な課題について考える。						
評 価	1出席状況 2授業への取り組み 3提出物(プリント、ノート等) 4定期考査 5小テスト 6その他 以上の項目について前期と後期を合わせて総合的に評価します。						
アドバイス	1 公民科の必修科目で、1年次に履修します。 2 「社会科は暗記科目」と思っている人は、その思いをぬぐい去ってください。社会はどのような仕組みで動いているか、自分はどのような生き方をしたらいいかなど、「ごくごく身近な問題に関心を持ち、考える」のが『現代社会』の目的です。「なぜ」と思ったことを、一緒に探ってみましょう。						

3 数学科

全 日 制							
科 目	数 学 I			履修条件	特になし		
種 類	必履修	対象年次	1年次	単位数	4単位	講座人数	40人
教科書	高等学校 新数学 I (第一学習社)						
目 標	方程式と不等式、二次関数及び図形と計量について理解し、基礎的な知識の習得を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。						
学 習 内 容	①基礎・基本の充実を目指し、数学 I の基本事項が確実に身に付くようにします。 ②教科書を中心に学習を進めていきます。 ③確認テストを定期的に行い、学習の到達状況がわかるようにします。理解度によっては、既に学習した内容に戻って学習しなおします。						
学習の流れ	前期 方程式と不等式、2次関数 (グラフの移動まで) 後期 2次関数 (最大・最小から)、図形と計量						
評 価	①出席状況 ②授業への取組 ③提出物・レポート・ノート等 ④定期考査 ⑤小テスト ⑥その他						
アドバイス	◇このコースは、高校数学のスタートとしての基礎学力を養うことを目的としています。 ◇数学 A 以外の数学の科目の履修は数学 I を既に履修していることが条件となります。						

4 理科

全 日 制							
科 目	理 科 総 合 A			履修条件	特になし		
種 類	必履修	対象年次	1年次	単位数	2単位	講座人数	40人
教科書	高等学校 新編理科総合 A 改訂版 (啓林館)						
目 標	『エネルギー保存の法則』と『原子説』を理解することで、自然に対する総合的な見方を身につける。						
学 習 内 容	1 前期 ・いろいろなエネルギー ・資源の開発と利用 2 後期 ・物質の構成と変化 ・物質の利用 ・科学技術の進歩と課題						
評 価	1 定期考査 2 出席状況 3 提出物 (実験レポート、プリント、ノート) 以上の項目について、前期と後期をあわせて総合的に評価します。						
アドバイス	1 回の授業で1枚のプリントを基本に授業を展開します。また学習内容は日常生活と関連させながら、わかりやすく学んでゆきます。						

全 日 制							
科 目	理 科 総 合 B			履修条件		特になし	
種 類	必履修	対象年次	1年次	単位数	2単位	講座人数	40人
教科書	高等学校 理科総合B 改訂版 (啓林館)						
目 標	人間と自然のかかわりを学び、自然に対する総合的な見方を身につける。						
学 習 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・地球の内部を知る。 ・地球環境について考える。 ・進化と遺伝について学ぶ。 ・生物と環境のかかわりについて学ぶ。 						
評 価	定期考査に加えて、実験レポート・提出物・出席状況・授業態度などによって評価し、前期と後期をあわせた総合的な評価とします。						
アドバイス	実験レポート、提出物、出席状況、授業態度などによって平常点を評価しますので、毎回の授業が大切になります。提出物については「全て提出」が評価の必須条件となります。特に欠席をなくすように努力しましょう。						

5 保健体育科

全 日 制							
科 目	体 育 ①			履修条件		特になし	
種 類	必履修	対象年次	1年次	単位数	3単位	講座人数	40人
教科書	現代保健体育 改訂版 (大修館書店)						
目 標	1 運動の楽しさや喜びを味わいながら、責任感を持ち自ら進んで行動する。 2 安全に留意し、他を尊重する心と技能や体力を身につける。						
学 習 内 容	体育理論を含めた体育実習を行う。 体づくり運動・武道 (ダンス)・球技・陸上競技を行う。						
評 価	1 出席状況 2 授業への取り組み (関心・意欲・態度・思考・判断・知識) 3 スキルテスト (実技) 4 その他 以上の項目について前期と後期を合わせて総合的に評価します。						
アドバイス	健康であるために大切な体を動かすこと、仲間と協力してスポーツを楽しむことなどを基本とし、生涯を通じて運動を楽しめるように積極的に授業に参加し活動することが大切です。 なお実技教科であるので、欠席をしないように心がけてください。						

全 日 制							
科 目	保 健 ①			履修条件		特になし	
種 類	必履修	対象年次	1年次	単位数	1単位	講座人数	40人
教科書等	現代保健体育 改訂版 (大修館書店) 現代保健ノート (大修館書店)						
目 標	1 個人及び社会生活における健康・安全についての理解を深める。 2 生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。						
学 習 内 容	～現代社会と健康～ 健康の考え方・健康の保持増進と疾病の予防 精神の健康・交通安全・応急処置						
評 価	1 授業への取り組み (関心・意欲・態度・思考・判断・知識・理解) 2 出席状況 3 提出物 4 発表 5 定期考査 6 その他 以上の項目について前期と後期を合わせて総合的に評価します。						
アドバイス	必履修科目で、なおかつ1単位の授業なので欠席をしないように注意することと、生涯を通じて健康な生活を送るための知識を学習してください。						

6 芸術科

全 日 制							
科 目	音 楽 I			履修条件	特になし		
種 類	選択必修	対象年次	1年次	単位数	2単位	講座人数	20人
教科書等	高校音楽 I 改訂版 MUSIC ATLAS (教育出版)						
目 標	音楽理論やオルガン演奏法の基礎を習得、舞台芸術を含む音楽の鑑賞などを通して西洋音楽に親しむ。						
学習内容	前期、後期共にオルガンは個々のレベルに応じて曲を選択し、練習してゆきます。鑑賞は単に曲を聴くだけでなく、オペラ、バレエ、ミュージカルなどの鑑賞も行います。独唱曲の練習も行います。						
評 価	出席状況、授業への取り組み、提出物(ノート等)、楽器演奏の進捗などで総合的に評価します。						
アドバイス	実技科目なので、出席して楽器の練習を積み重ねないと弾ける様になりません。また、ある程度レベルが進むと、自分で選んだ曲を授業で取り組むことができます。						

*美術 I ・工芸 I ・書道 I は相互履修科目

三部制 午前部 午後部 夜間部							
科 目	美 術 I			履修条件	特になし		
種 類	選択必修	対象年次	1年次	単位数	2単位	講座人数	20人
教科書等	高校美術 1 (日本文教出版)						
目 標	美術の幅広い創造活動を通して美的体験を豊かにし、美術を愛好する心情を育てると共に、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。						
学習内容	前期 自画像、デッサン			後期 タイルアート			
評 価	提出物(作品・プリント等) 7割、出席状況・授業での取り組み等 3割、 考査なし						
アドバイス	作品を必ず完成させて、期日までに提出すること。遅刻・欠席なく、授業に積極的に参加すること。制作を楽しもうとする気持ちを持って、授業に臨んで下さい。材料費別途。						

三部制 午前部 午後部 夜間部							
科 目	工 芸 I			履修条件	特になし		
種 類	選択必修	対象年次	1年次	単位数	2単位	講座人数	20人
教科書等	高等学校工芸 I (日本文教出版)						
目 標	工芸の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、工芸を愛好する心情と生活を豊かにするための工夫する態度を育てると共に、感性を高め、創造的表現と鑑賞の能力を伸ばす。						
学習内容	1 前期 観察と表現 陶芸・木彫 2 後期 金工・染色 年間 発想と完成予想図・図法と図面・創る楽しさを味わう。						
評 価	課題プリント、作品等の提出物に、授業への取り組み出席の状況等、学習の記録を評価する。前期と後期を平均したものに年間の状況を総合的に加味して評価。						
アドバイス	1 怪我をしないように注意してください。 2 作品は必ず完成させて、提出期限を厳守してください。 3 実技科目ですから欠席・遅刻をしないでください。						

三部制 午前部 午後部 夜間部							
科目	書道 I			履修条件	相互履修・他部履修可		
種類	選択必履修	対象年次	1～4年次	単位数	2単位	講座人数	20人
教科書等	書道 I (東京書籍)						
目標	書道の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てるとともに、感情を豊かにし、書写能力を高め、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばす。						
学習内容	前期 漢字仮名交じりの書(筆圧に工夫した日常表記文) 漢字の書(楷書) 後期 書道史(字体の変遷) 仮名の書 創作(古典より集字) 漢字の書(行書)						
評価	提出物(作品・プリント・小テスト) 7割 出席状況、授業での取り組み等 3割 定期考査なし						
アドバイス	一枚、一字一字について、その時の解決すべき課題を見極めながら、練習する姿勢をもってください。授業での提出物が評価につながります。必ず作品を完成させて、提出してください。						

7 英語科

全日制							
科目	英語 I			履修条件	特になし		
種類	必履修	対象年次	1年次	単位数	4単位	講座人数	40人以内
教科書	Captain English Course I Revised (大修館書店)						
目標	日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える基礎的な能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てます。 特に基礎・基本の充実を目指して授業を進めます。						
学習内容	【前期】まとまりのある文章を読み、中学校で学習した内容を体系的にまとめながら、高等学校での学習に結びつけ理解します。 【後期】まとまりのある文章を読み、英語の基礎的な学習内容を体系的に理解します。						
評価	①出席状況 ②授業への取り組み・活動状況 ③定期考査 ④小テスト ④提出物(レポート、プリント、ノート等) ⑤その他						
アドバイス	1年次に履修する科目です。卒業の要件となる「必履修科目」の一つなので、全員が必ず履修しなければなりません。 基礎・基本に重点をおき授業を進めます。日々の継続的な学習が重要な要素となるので、授業を休まず積極的に取り組んでください。						

8 家庭科

全 日 制							
科 目	家 庭 総 合			履修条件	特になし		
種 類	必履修	対象年次	1年次	単位数	2単位	講座人数	40人
教 科 書	家庭総合 ― 明日の生活を築く ― (開隆堂)						
目 標	1 人間の健全な発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、社会とのかかわりについて理解する。 2 生活に必要な知識と技術を習得し、男女が協力して家庭や地域の生活を創造する能力を身につける。						
学 習 内 容	1 前期 人の一生と家族・家庭、高齢者の生活と福祉、衣生活の科学と文化について学ぶ。 2 後期 衣生活のまとめ、住生活の科学と文化、家庭生活の営みを支えている家庭の経済行為について学ぶ。						
評 価	1 出席状況 2 授業の取り組み 3 提出物（製作物、プリント、レポート等） 4 定期考査 5 小テスト 6 その他 以上の項目について前期と後期を合わせて総合的に評価します。						
ア ド バ イ ス	家庭科は生活と結びついています。毎日の生活の中に課題を発見し、改善していく姿勢を持ってください。学習の中で習得した知識や技術を生きた知識として日常生活に役立てていきましょう。						

9 情報科

全 日 制							
科 目	情 報 A			履修条件	特になし		
種 類	必履修	対象年次	1年次	単位数	2単位	講座人数	40人
教 科 書	新版 情報A 情報の活用と実践 (開隆堂)						
目 標	コンピュータや情報通信ネットワークなどの活用を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を修得させるとともに、情報を主体的に活用しようとする態度を育てる。						
学 習 内 容	前期 1 情報の活用とコンピュータ (1) コンピュータを使った情報処理 ワードプロソフト (Word) (2) コンピュータを使った情報処理 表計算ソフト (Excel) 後期 2 ネットワークの活用 (1) 情報通信ネットワークを利用した情報の収集 3 マルチメディアの活用 (1) 情報の統合とプレゼンテーション (Power Point)						
評 価	出席状況や学習活動への参加状況、課題の提出状況や内容、考査の成績を総合的に判断します。						
ア ド バ イ ス	コンピュータ室で実習中心の授業を行いますので、できるだけ休まず、課題を確実に提出することが大切です。コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切に活用できる力が身に付くようがんばりましょう。						

10 総合的な学習の時間

全 日 制							
科 目	総合的な学習の時間			履修条件		特になし	
種 類	必修	対象年次	1年次	単位数	1単位	講座人数	40人
教科書	なし						
目 標	<p>学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の在り方や生き方を考えることができるようにする。自分の将来について考え、進路について具体的な展望を持つ。</p>						
学 習 内 容	<p>前期 1 図書館利用ガイダンス 2 進路資料室利用ガイダンス 3 情報ガイダンス(インターネット利用・文書作成) 4 自分史の作成 後期 1 進路ガイダンス(卒業生の進路・生き方) 2 テーマ別の事前学習 3 テーマ別の体験学習 4 レポート作成・諸活動の発表</p>						
評 価	<p>生徒の学習状況は、(1) 関心・意欲・態度(学習活動確認表)、(2) 思考・判断(学習活動記録)、(3) 技能・表現(諸活動の発表)、(4) 自己の在り方・生き方(自己評価を含むまとめレポート)の4つの観点で総合評価(文章で評価)を行います。</p>						
ア ド バ イ ス	<p>自分の将来について考え、進路について具体的な展望を持てるように取り組んでください。必修科目ですので欠席することなく参加するようにしてください。</p>						